

# 回文が来た

き	ほ
ん	く
か	か
く	ん
ほ	し
	し

# ほ

first message from ISOS



Your Company ?

No. That is!



# ほ

## 僕 □ 歓喜した □ 資金確保

企業の社会責任に関する格付け調査を長年実施していたCEP (Council on Economic Priorities) というNPOが、2001年10月に資金難により活動を停止した。CEPの代表だったアリス・テッパー・マーリンさんが米国企業に対する格付け調査を実施したのは33年前。最初に彼女が調査票を持って企業を回った時は、「あなたは何者なんですか」と言われてまったく門前払いだったそうだ。それから地道に実績を積み重ね、だんだん調査票を送ってもスムーズに返答が来るようになった。企業の社会責任に対する関心が年々高まり、これから益々このような格付け調査が重要になってくると期待されていた矢先に、米国でのテロ事件が起こった。事件後、9月11日基金や赤十字による募金など、テロで被害に遭った人々に対する大規模な救済資金活動が行われ、CEPにこれまで流れていた資金は、ほとんどそちらの方に回ってしまった。当時、同様の理由で資金難に陥ったNPOがかなりあったという。CEPは33年間の活動に幕を閉じ、そのノウハウは別の組織に受け継がれた。

テロ事件が発生する前から、米国では、政府の補助金や個人・組織の寄付にだけ頼っていると不安定でしかも限られた資金内でしか活動ができないことから、自分で稼ぎながら社会的に有意義な仕事をしようという人たち(社会起業家; Social Entrepreneurと呼ばれている)が登場し始めた。彼らの動きは、企業からもNPOからも高い関心が持たれており、日本でも注目されている。NPOは経済的自立を目指し、企業は社会貢献を第一義に考える—米国在住でマーリンさんの元で働いたこともある社会責任コンサルタントの斎藤慎さんは、このような動きを「NPOの企業化、企業のNPO化」と表現している。もはや「NPOだから」とか「企業だから」とかいった観点は、その組織の取り組みに対する本質的な評価を曇らせるだけのようだ。

CEP解散後、マーリンさんはどうしているかという、SAI (Social Accountability International) というNPOの代表として頑張っている。SAIは、SA8000 (企業の労働環境に関する社会的説明責任の規格) に関する規格開発・改訂、同規格による審査登録の認定、審査員のトレーニングなどを実施している機関である。登録規模はまだ世界で200件ほどだが、これから伸びていく分野なので、しっかり稼いで資金確保しつつ、今後も社会貢献を続けて欲しい。